



令和6年度

渋沢つうしん

秦野市立渋沢小学校

令和6年5月20日

第2号

Tel 88-7066

《こんにちは集会》

4月24日（水）にこんにちは集会が行われました。この集会は新しく「しぶさわっ子」になった1年生を2～6年生が歓迎する集会です。司会等の運営を本部委員会、1年生が入退場で通る花道をボランティア委員会が担いました。各学年から1年生の入学を歓迎するメッセージと歌などのプレゼントが送られました。どの学年も「ようこそ1年生」という歓迎の気持ち、そしてお姉さん、お兄さんとしてお手本でありたいという気持ちが十分に感じられるような発表でした。各学年のメッセージで代表児童が一人ずつ言葉を伝える場面が何回かありました。700名近くの集会で、たった一人で発声することはとても勇気がいることですが、今年の渋小キーワードの一つ「やってみよう」がこんなところにも表れているな、とうれしく思いました。そして1年生からもお礼の歌がありましたが、短い準備期間にもかかわらず元気よく一生懸命歌っている姿が見られました。また、会全体を進行する司会の児童は「静かにしてください」という言葉を使わずに、「だんだんと静かになってきました。それでは・・・」というように、温かい雰囲気の中で会をスムーズに進められるよう臨機応変に対応していて感心させられました。1年生から6年生まで全ての学年の成長が感じられる、喜びいっぱいの会となりました。

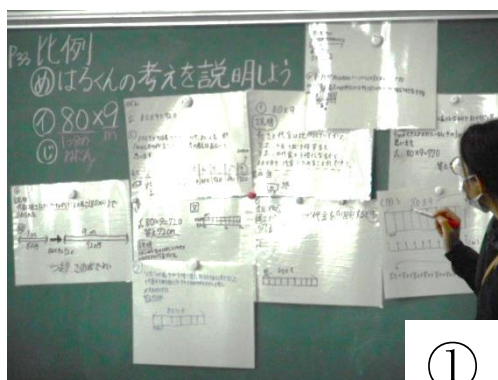


《ある授業の一コマ》

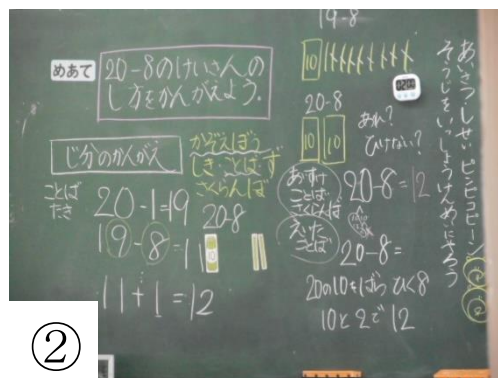
5月に入り、運動会の練習も本格的に始まっています。その中でも教室では通常の授業が行われています。研究授業などの特別ではない、通常の授業の一コマをご紹介します。

①の写真は5年生の算数の授業です。「比例」の学習で問いに対してどのように考えて、どのように答えにたどり着くかをグループになって考えます。言葉や線分図、数直線を使いながら、自分たちの考えをホワイトボードにまとめていきます。授業中盤ではそれぞれのグループの考え方を交流し合う中で一人一人の考えを深めていき、授業終盤はこの授業の中で学習した内容をクラス全体やグループで確認しながらノート等にまとめます。自分の考えをもち、それを発信し、友達との対話によって学びを深めています。ここで学んだ内容が次の授業に生かされていきます。

②は2年生の算数です。問いを示し、その解法を教師



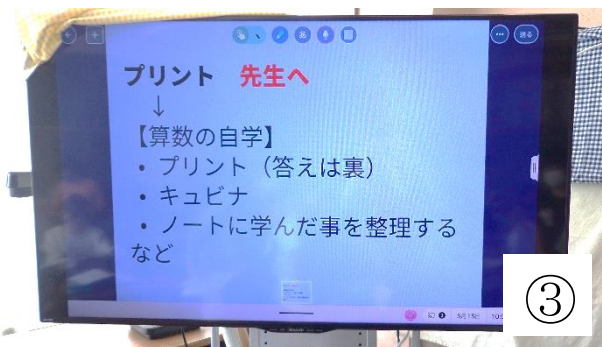
①



②

が説明し、その通りにやってみるという授業展開ではありません。新しい問いに対して、これまでに自分が学んだこと、身につけたことを生かして解決することができないかを、子どもたち一人一人が主体的に試行錯誤しながら授業が進んでいきます。教師の発問に対して、これまでの学習内容をいかして自分の考えを発表する姿が見られ、2年生になったばかりのこの時期にこれだけの考え方ができるのだな、と感心させられました。

③は6年生の算数ですが、全員が取り組む共通課題が終わった後は、今の自分に必要な学習は何かを考え、選択し取り組むという授業が展開されていました。自分の学習状況を把握し、「もっと難しい問題に挑戦したい」「自分のペースでじっくりと取り組みたい」「類似の問題に取り組み学習を定着させたい」など自分で判断します。もちろん教師も個々の学習状況を把握し、その子にとって適切な学習をアドバイスします。このような授業によって学習の自己調勢力が伸びていくことが期待されます。



校内を回っているとこのような授業の一コマを目にします。「学び合い」「主体性」「自己決定」「ねばり強さ」など学習活動において本校が大切にしたいキーワードが授業で実践できるよう努めてまいります。

《一番大切ないのち》

5月10日（金）に避難訓練があり、今回は家庭科室から出火したという想定での訓練でした。今回を含めて渋沢小学校ではこのような訓練を年間で4回予定しており、地震や火災から身を守るにはどのように行動するべきなのかを学んでいきます。感心したのは、初めて参加した1年生が落ち着いて行動できていたことです。これまでに、こども園、保育園、幼稚園で同様の訓練を行ってきた成果が現れているのだらうなと思いました。では、学校以外の場所、下校中、ご家庭で同様のことが起こったときにどのように行動するのか。子どもたち一人一人が判断できるような力をつけたいものです。ぜひご家庭でも話題として取り上げていただければ幸いです。

「一番大切なのはあなたたちのいのち」

様々な場面で子どもたちにお話ししていきたいと思います。

《子どもたちが主役の運動会》

右の写真は6年生の近くの廊下に設置されている鼓笛連絡ポストです。6年生は運動会の表現種目で鼓笛を演奏します。連絡ポストには先生が作成した鼓笛の練習内容が書かれたプリントが入っています。鼓笛のパートリーダーはポストからプリントを取り出し、メンバーに配付、周知をします。また、練習中にも各パートに分かれて話し合う時間が設定され、練習メニューへの取り組み方、改善点、改善方法などを自分たちで考えて行動するようながされています。「自分たちで作り上げる鼓笛」という意識を高めていくための活動



で、個々の主体性の向上や自立した集団作りが期待されます。立派な演奏はその結果であって、目的ではありません。1年生から5年生の表現種目でも同じことがいえます。共通の振り付けを友達とそろえることでよりよい表現となることを体験し、自分だけの振り付けや各クラスの振り付けを考えることによって自己肯定感が高まったり、他者理解が深まったりしていきます。当日の演技だけでなく、そこまでの過程が子どもたちにとって教育的価値があります。運動会練習で頑張っていること、できるようになったことなどをご家庭でも話題にいただき、励ましていただければと思います。